

みなしご通信



小学校で命の授業 コウモリも

6月8日私は那須塩原市立大原間小学校の5・6年生を対象とした命の授業に参加させていただきました。今回の栃木拠点滞在において一番張り切っていた活動です。《教育》とほど遠い人生を歩んできた私が言うのもなんですが人間に一番大切なものは教育だと思えます。子どもの頃の家庭教育・学校教育・地域社会が包み込む教育それらが《満足にそろわない》とのちに人間は《大きく》道を踏み外してしまうんだ：と人間歴60年を過ぎヒシヒシと感じております。なんだかんだで大原間小学校の子どもたちがおとなになったとき「おもしろいオバサンが来たことがあるな」と思い出してもらえたらラッキーかなと私は思います。



そうそう！大原間小学校の体育館にコウモリがいてね、6年生の担任の先生に「捕まえて逃がしてください」と頼まれて。体育館の舞台のカーテンにコウモリ。こんなに小さいのを6年生の子が見つけたの。で5年生が来るまでに外に出さないとコウモリに夢中になって誰も私の話なんて聞いてくれんじやろ(笑)小さいけど逆さになっててちゃんと

コウモリなんです。私は間近で見るのは生まれて初めてだったのでちよつと嬉しかったです。小さいけど威嚇してギョッつって叫ぶし嘔もうとするんです(笑)手足や羽の骨が細いので折らないうような気を付けながら少しずつ生地から外していきました。

コウモリを捕まえたらすぐに5年生が体育館に入ってきたのでとりあえず網を外においてあとで逃がすことにしました。で話す内容を決めてない私はいきなり子どもたちに『さつき私はそのカーテンにいたコウモリを捕まえたんよ』と話す子どもたちが一斉に「コウモリならこの体育館にはいっぱい居るよ」「ここで暮らしているんだよ」「なら捕まえなくて良かったんだ」と私が言うのと「そうそう！放してあげて！」「どこで放そうか？』と聞くのと「どこでもいいよ！どうせ帰ってくるよ！この体育館はコウモリの家だから」と子どもたち。だくれもコ

ウモリが怖いかコウモリは汚いか言わん！大原間小の子どもたちええ子♪子どもたちにはツキノワグマの話もしました。いちごも大好きで手から優しく食べてくれるよと言うと「かわいいッ！」ツキノワグマとパンダは色が違うだけ、動きはパンダと同じですごいかわいいよ。ニホンジカの話もしました。「嫌いな動物は？」と聞かれたので『人間のおとな！』と答えました。子どもたちにはウケました(笑)

「そんなにたくさん動物を育てるのにいくらお金がいりますか？」と聞かれたので『1年間で1億円は要ります』と答えました。「そのお金はどうしてるんですか？」と聞かれたので『日本中の人からの寄付金です』と答えました。『千円二千元が集まって1億円になります』と答えました。子どもたちはとつても驚いていました。そうかも知れんね：私は当たり前のように皆さまからいただくご寄

付で活動しているけど、これは当たり前じゃないね。子どもたちから教わることはいっぱいあります。

すみれ堂にて

すみれ堂に行きました。ここはキャリアウーマンの川原さんが犬猫みなしご救援隊のためだけに個人宅を期間限定で開放し鎌倉ゆかりの作家さんたちの作品を展示即売している《お店》です。川原さん一家はアイメイトから盲導犬のリタイヤ犬を引き取って家族としてお世話して看取りをされる一家です。今は《盲導犬の不適格犬》がいます。カラちゃんも川原さんのお母さんが不適格犬と判断された子を見て連れて帰った子です。不適格犬ってね：外に出たりしないの？

「中谷さん！カラは一応盲導犬の厳しい訓練をクリアした子ですよ！可哀想なくらい勝手な行動はしないのよ」そうじゃったね！カラちゃんも最後の身体検査でヒザのサラが浅く膝蓋骨に



問題あり！とかの理由で落とされたんだ。普通に歩けるし普通に走れるのね！けどカラちゃんも落とされてラッキーじゃ！川原さんちの子になれたから。盲導犬になんかなってたらオシッコすら自由にできんし利用者で外出中近づいてきた意地悪な人間から毛をむしられたり蹴られたりするしね。そんな仕打ちを受けても我慢するしかない盲導犬にはならなくて良かったよ！盲導犬候補として生まれた子は、パピーウォーカー宅に預けられ生涯において一番やんちゃでパワフルな成長期にパピーウォーカー宅から盲導犬訓練所に

移動させられ犬としての楽しみが一切ないどころか排泄すら我慢するしかないものはや《生き物扱いではない》に厳しい訓練を受けます。なのに毎年たくさんの子たちが不適合だ！とハジかれています。そう言えばそのハジかれた子たちはどこに居るんじゃない？あなただけの周りにいます？私は川原カラちゃんしか知らないです。どこで《元気に》生きるよるんじゃない？

盲導犬と言えれば世間一般では《ええ感じのイメージ》ですが知れば知るほど腹立つ世界なんです！最近はこちらに利用者のニーズに応えるとかで盲導犬が小さく改良されてて大型犬のラブラドルレトリバーなのに平気で体重20キロを切ってるんですよ！《飼い主のために尽くしたい》犬の性質を利用して人間が身体が大ききまでコントロールする…まったくおかしな話じゃろ！そうまでして犬を人間のために働かす意味が私にゃくわからん！

犬は人間に尽くすために存在するのではなく人間と共に生きるために存在するのです。犬は言葉を発せないだけで人間の気持ちをじゅうぶんくみ取ってくれます。人間はそんな犬の気持ちを裏切らず心から犬を愛すべきです。私は自称・動物愛護家。これからも《大きな権威》にたてついて言葉を発せない動物たちの代弁者であり続けたいと思います。

犬の乃ちゃん

朝一番はいろいろとやるのが山積みです。小型雑種の乃(だい)ちゃんも、圧迫排尿・排便も朝一番の仕事のひとつ。乃ちゃんは走る車の助手席の窓から投げ捨てられ後続車にひき逃げされ大けがをして下半身不随になった子です。捨てたヤツもクソじゃが、仕方がないとは言えひいたのに放置した後続車もクソ。この被害者が人間じゃつたら世を揺るがす大事件！ただひとつ救いだっただけの話を取材した当時の中国新聞



社の記者が終生の支援金を持って乃ちゃんをうちに連れて来たという事実。乃ちゃんがうちに来て8年か9年になります。

圧迫排尿・排便をしたらお利口さんのおやつです。乃ちゃんも考えてます。乃ちゃんは車の窓から捨てられるまでB B弾を食べさせられていた子です。※胃の中も全部B B弾で埋まっています。それがトラウマなのか乃ちゃんはどんなおやつも一度クチから出して確かめてそれから食べます。

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

NPO法人(特定非営利活動法人)
犬猫みなしご救援隊
 www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
 〒731-0234
 広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
 TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ
<http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html>に掲載しております。

スマホをかざすだけで募金ができる

かざして募金

JAPAN GIVING

ソフトバンクの「かざして募金」、ジャパングIVINGで寄付ができます。
<https://japangiving.jp/supports/1281> 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。